

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 1F麻生川の桜 (2022年3月28日)

三寒四温

岡 聖史
2022年 4月 6日

春と言えば、卒業・入学といった学校行事がごぞいます。これらの行事を更に感動的に引き立てるのが桜です。東京では3月20日程に開花宣言があり、1週間程度で満開になりました。この様に、温かなイメージの春ですが、実際は随分と寒い日々です。徐々に寒い日と温かい日が入れ替わる様子を三寒四温と表現していますが、実際は四寒一温程度なのではと疑ってしまいます。

さて、今月の広報は春の代名詞“花”を中心に、ご入居者様の生活の様子を切り取ってみました。新型コロナウイルスによる行動制限はまだまだ続きますが、春を少しでも感じてもらえたらと思います。



写真=スペシャルメニュー (2022年3月24日)
マグロ漬けとネギトロの山かけ丼、香の物、揚げナスのそぼろ煮、うぐいす豆、すまし汁、ピーチフレッシュゼリー



写真= 4Fのチューリップをご覧になっているご入居者様 (2022年 3月 28日)

庭園の春

岡 聖史
2022年 4月 13日

ロイヤルホームの4Fには庭園がございます。開設から5年程は緑の樹木のみ景色でしたが、4Fフロアの本格的な稼働に伴い花や野菜を育てるようになりました。現在では、管理人の石原氏(営繕・兼ドライバー)も馴染んでいます。

さて、寒い季節を終えて、ようやく春の日差しが届くようになったと思った矢先、赤いチューリップが咲き始めている事に気が付きました。しばらくすると、白いチューリップが、続けて黄色のチューリップ、そして紫のチューリップが、あっという間に4F庭園がチューリップ畑のように華やかになりました。

毎朝、4F庭園で運動をされているご入居者様にお会いした際に「綺麗に咲きましたね」

「今年はたくさんですね」とお話をしつつ、自然と笑顔になっていました。

また、別のご入居者様とお会いした際には「本当に歌の通りですね」と話され、私は一瞬反応に遅れをとってしまいました。しかし、直ぐにあの歌が思い浮かび、「本当に、赤、白、黄色ですね」とお返事ができました。

更に別のご入居者様が介護士と共に庭園にお散歩に来られた際に、チューリップを眺めながら静かに微笑まれました。私は満足していただけたかなと思い「いかがですか」とお声掛けすると、その方は「寒い」と一言述べられていました。

確かに、4月は寒いので体調を崩さないよう注意しながら4F庭園に来ていただきたいと思います。

今月のトピック

#庭園の春

#麻生川へお花見に

#委員会活動報告(ONE総生会 NEXTへ)

#スタッフ紹介

麻生川へお花見に

岡 聖史
2022年 4月 1日

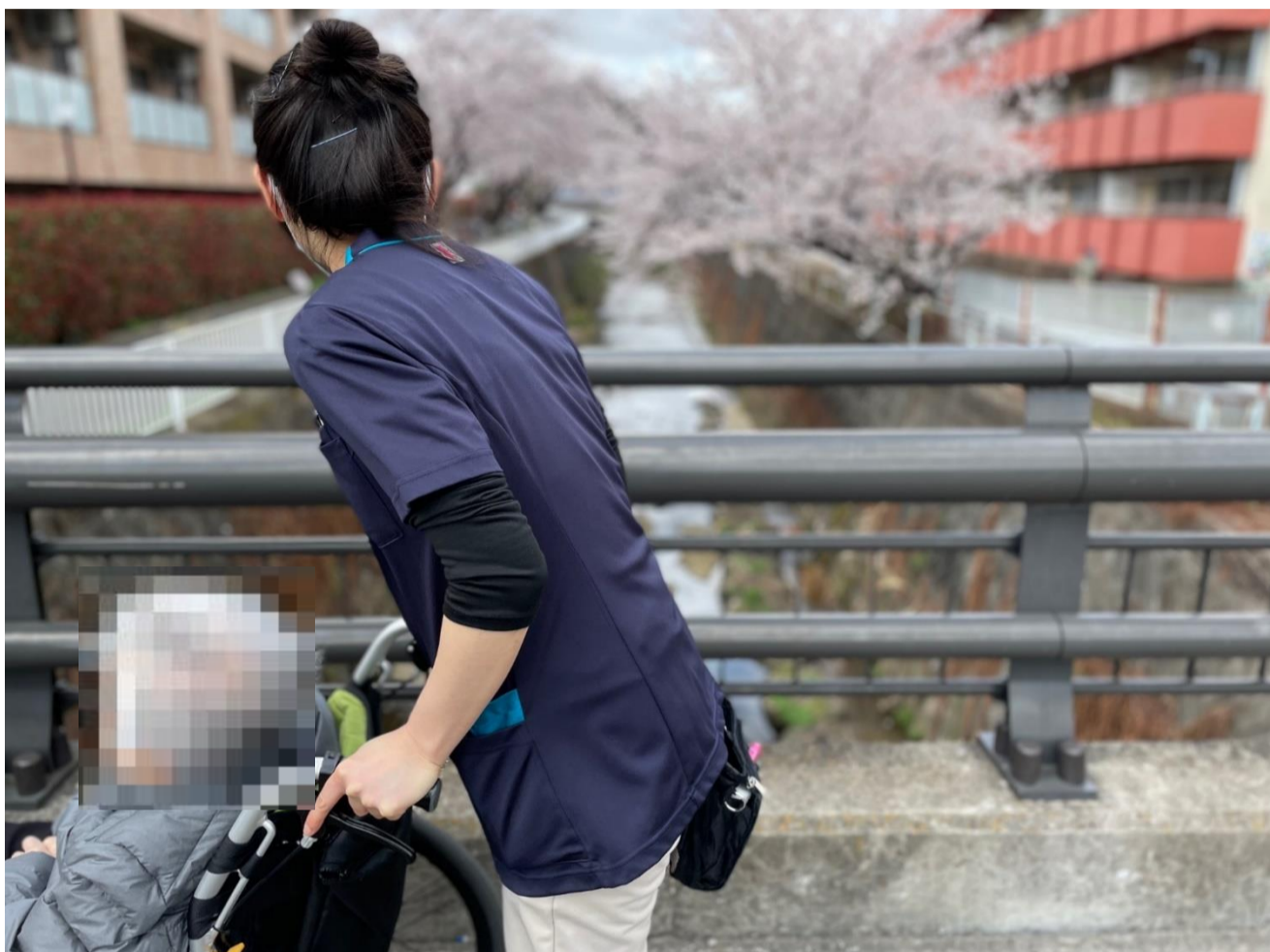


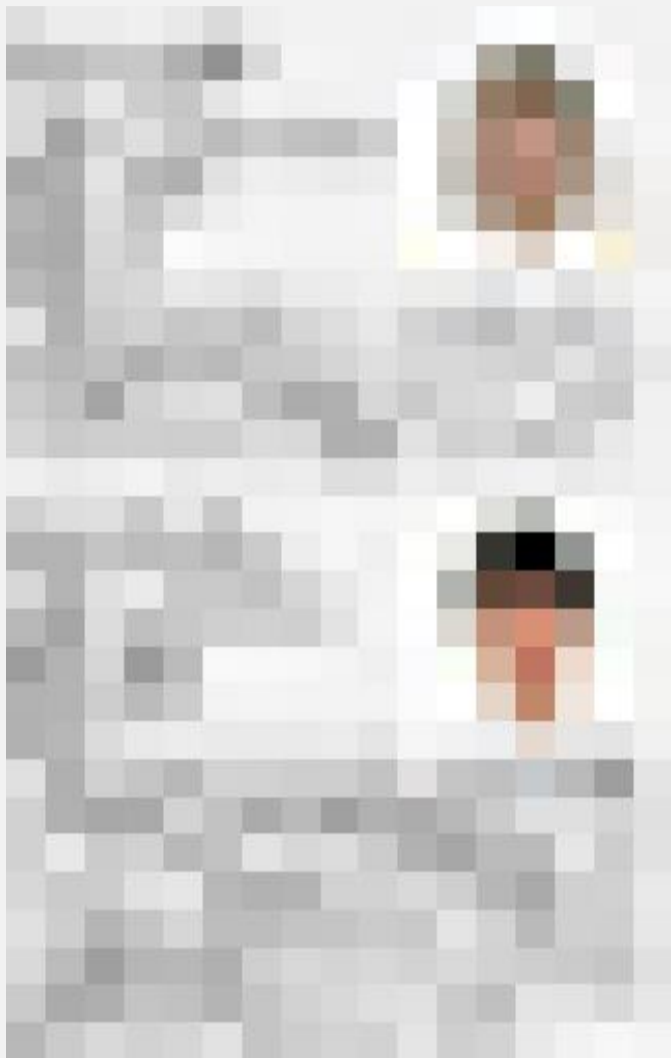
写真 = 麻生川のお花見からホームへ戻っている場面 (2022年 3月 28日)

2年ほどお休みしているお花見ですが、今年は出かけることができました。この日のお天気は午前中から晴れていて、気温も高い状態でした。桜は丁度満開を迎え、気持ちのいいお花見となりました。ご入居者様も口々に「きれいねえ」、「こんなに咲いて」と感情が高まっている様子でした。また、お花見の為か皆さんの視線はやや上向きで、非常に前向きな、明るい時間になっていました。こうして、上をみていると雲の動きにも敏感になります。青かった空に雲の数が増えていきます。あるご入居者様が「あら、雲が」と直ぐに気づかれました。すると花見を終えて戻る頃には、青かった空は白くなっていました。

長い時間のお花見ではありませんでしたが、ご入居者様の表情や会話の量、声の大きさ、高さから、喜んでいただけたと様です。以前は、安全の確保ができるように計画を立案し、全てのご入居者様にお花見を提供することが叶っていました。今回は一部のご入居者様のみとなってしまう点が残念で仕方ありません。全てのご入居者様とお花見ができていた時の様に、コロナ禍においても解決策を提案していきたいと思えます。

スタッフ紹介

2022年 4月 4日



振り返り

岡 聖史
2022年 4月 10日

今月は春ということで、ロイヤルタイムスの内容がホームやその周辺のお花にまつわるエピソードで和やかになりました。しかし、花粉症の方には非常につらい時期です。症状緩和には、様々な方法がありますが、私個人としては耳鼻科で処方してもらったお薬が一番効くと思っています。ですがこのお薬、随分良くなったとはいえ非常に眠いです。私の冬眠はまだ続く様です。

委員会活動報告 (ONE総生会 NEXTへ)

岡 聖史
2022年 4月 17日

総生会のプロジェクトとしてONE総生会の活動を行ってまいりました。この活動では、総生会の5事業所（麻生総合病院、麻生リハビリ総合病院、訪問看護ステーション、居宅支援室、ロイヤルホーム）が一丸となって質の高いサービスを実現する為に、連携・学習を促進してきました。

私は、事業所間業務の統一化を促進するグループを担当しました。例えば、ロイヤルホームから麻生総合病院に入院する場合のルールと手順書を作成し、周知する役割です。各々の事業所が独自で業務改善を進めてきましたが、事業所間にまたがる業務となると得意とは言えず、スタッフ間のやり取りやローカルなルールで運用されてい

ました。ONE総生会は、プロジェクトとしての活動だったので期限付きでした。その為、まだまだ解決すべき問題は残ります。しかし、この活動によって、事業所単位の問題ではなく、総生会全体の問題へと意識が変わったのではないかと考えています。理念である“常に最善を飽くことなく追求し 質の高い安心の医療を提供する”を具現化する為の活動は今後も続いていきます。